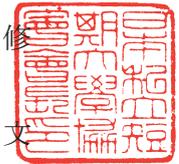


短大協発第27144号
平成27年9月7日

会員短期大学

理事長・学長 殿
教 職 員 殿
学生生活担当教員 殿
学生部署関係教職員 殿
学寮関係教職員 殿

日本私立短期大学協会
会 長 関 口 修
学 生 生 活 委 員 会
委員長 八 耳 俊 文



平成27年度「私立短大学生生活指導担当者研修会」開催について（通知）

標記研修会を別紙実施要領の通り、宮城県仙台市にて開催いたします。
学務ご多忙の折柄とは存じますが、貴学の教職員、学生生活部署関係教職員並びに学寮関係教職員の方々の多数ご参加を賜りたくご通知申し上げます。

◎同封書類

- ・平成27年度「私立短大学生生活指導担当者研修会」実施要領

※ 本研修会は参加申込処理等を迅速に行うため、以下の要領にて、電子媒体(MS-Excelファイル)およびEメールを用いてお申込みいただいております。

①本協会ホームページから申込書ファイル(MS-Excel形式)をダウンロードし、②必要事項をパソコンにて入力の上、③本協会宛にEメールにて申込書ファイルを添付し、お申込みください。

なお、申込書の入力方法、送信方法の詳細は、後述の「研修会参加費納入及び参加申込み方法について」、「参加申込み手順について」等をご参照ください。

参加申込締め切り期日
10月13日(火)〔必着〕

平成27年度「私立短大学生生活指導担当者研修会」実施要領

主催 一般財団法人私学研修福社会

協力 日本私立短期大学協会

主題・目的

短期大学の学生生活における支援の在り方とは

ー学生自身の持つチカラを引き出すー

少子化による全入時代を迎え多様な学生が入学してくる現在、将来を見据えて資格取得に励む学生やボランティア活動を通して社会貢献を考える学生がいる一方で、何事にも受動的で、目標もないまま、せつかく短大に入学しても自ら学生生活を楽しもうという意識が欠落している学生も多い。このような学生たちに対し我われ教職員が学生自身の持つ潜在的なチカラを引き出し、掲げた目標に導くことが必要である。どんな状況下におかれても前向きに取り組む力、物事を的確にとらえるための広い視野に加え、周囲のひとと適切にかかわるためのコミュニケーション力をより向上させるためには、学生が感じている不安や躊躇いを我われ教職員が手厚くサポートし、取り除くことにより、自信を持って前に踏み出せる力を育成する。そのためには短大ならではのフットワークの良さを発揮し、ニーズに合致した取り組みや活動に積極的に関わることにより、学生が短大生活に満足して卒業していくという一連のルーティンを構築することが求められている。

今回、東日本大震災の被災県である宮城県仙台市にて研修会を開催する意義は大きいと考えている。初日には、従来の「短大見学会」に加え、「被災地見学会」を企画した。自ら被災地域に立ち、語り部の方たちから当時の様子や復興への取組みを聞くことで、災害時における危機管理や防災教育の在り方を考える機会としたい。また、講演、事例報告、分科会研修などを通して、学生支援という同じ目的を持った教職員の方々と、支援の在り方や問題解決に向け情報・意見を交換しながら学ぶ場となることを願っている。

実施要領

- 開催期日 平成27年11月30日(月)～12月2日(水)の3日間
- 見学会 研修会第1日の11月30日(月)に「短大見学会」と「被災地見学会」を実施いたしますので、どちらかにご参加ください。
- <短大見学会>
仙台青葉学院短期大学
〒984-0022 仙台市若林区五橋3-5-75 Tel022-369-8000
- <被災地見学会>
バスにて被災地を見学します。
- 見学先により、集合場所・見学時間が異なります。
後掲の内容をご確認のうえ、参加申込書にて「短大見学会」か「被災地見学会」を選択し、お申込み下さい。
- 研修会場 仙台市「仙台ガーデンパレス」(12月1日・2日の2日間)
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-1-5 <後掲案内図参照>
電話 022-299-6211
- 参加資格 私立短期大学の理事長・学長 および 教職員の方々 並びに
学生指導・支援担当部署の教職員・学寮関係の教職員の方々。
- 参加経費 ①短大見学会に参加の場合は、全日程で1人29,500円
②被災地見学会に参加の場合は、全日程で1人31,500円
*参加費、情報交換会費、昼食代を含む
- 宿 泊 本研修会参加に伴う宿泊については、各自お手配ください。なお、研修会場の「仙台ガーデンパレス」に宿泊を希望される場合には、来る10月20日(火)までに直接ホテルに電話(022-299-6211)にて、「私立短大学生生活指導担当者研修会に参加」と申し添えてお申込みください。
- <1泊素泊まりプラン>
シングルルーム ￥ 6,100
- <1泊朝食付きプラン>
シングルルーム ￥ 6,700
- ※上記料金は本研修会参加者を対象とした特別料金で、お一人様・税・サービス料込みの金額です。宿泊室数に限りがありますので、ご希望の際にはお早めにお申込みください。

■その他

- (1) 研修会の受付は、12月1日(火)の9時30分より、研修会場の「仙台ガーデンパレス」2階「鳳凰の間」前のロビーにて行います。
- (2) 分科会研修では、2日間にわたって3つのテーマを中心に討議を進めます。運営の参考とするため、後掲の3つのテーマの中から関心の高いテーマを一つ選び、参加申込書にてお知らせください。なお、会場の収容人数に合わせ、運営委員会にてグループ分けを行いますので、ご了承ください。
- (3) 参加申込書の「アンケート・連絡事項」の欄に、分科会研修を円滑に進めるため、予め情報交換したいことや対応に苦慮していること等、忌憚のないご意見をお寄せください。
- (4) 分科会研修を有意義に進めるため、貴学の学生便覧、学生生活の手引き、ハンドブック、諸規程類、学生新聞など、閲覧可能な資料がありましたら当日ご持参ください。
- (5) 12月1日(火)の18時より「情報交換ネットワークの会」を行います。各自、名刺をたくさんお持ちください。

運営委員 (指導員)

八 耳 俊 文	青山学院女子短期大学	学長 (委員長)
幸 田 和 也	聖徳大学短期大学部	学生部次長 (副委員長)
田 中 葵	千葉明德短期大学	講師
本 橋 正 人	青山学院女子短期大学	学生課長
鈴 木 俊 昭	戸板女子短期大学	学生部長
浅 川 まり子	東京農業大学短期大学部	学生課長
宮 本 朱	文化学園大学短期大学部	学生部副部長・学生課長
林 直 希	鎌倉女子大学短期大学部	学生センター学生課長
中 川 裕 子	山梨学院短期大学	教授
戸 田 克 司	常葉大学短期大学部	学生課長
水 口 美知子	名古屋経済大学短期大学部	特別准教授
内 藤 智 徳	名古屋短期大学	学務部長
寺 田 豊	園田学園女子大学短期大学部	学生支援部学生課長
谷 村 勇 一	武庫川女子大学短期大学部	学生課長

(順不同・敬称略)

日 程

第1日・11月30日(月)

見学会
※選択制

13:00

14:00

短大
見学会
14-16時

現地集合/解散

16:00

16:15

被災地
見学会
13-16時15分

仙台ガーデン
パレス発着

第2日・12月1日(火)

9:30	受付
10:00	開会挨拶 オリエンテーション
10:30	講 演 I
12:00	昼食・休憩
13:00	事例報告 I, II
14:30	調査報告
15:00	休憩・会場移動
15:30	分科会研修
17:30	会場移動・休憩
18:00	情報交換 ネットワークの会
19:30	

第3日・12月2日(水)

9:00	分科会研修
12:00	昼食・休憩
13:00	講 演 II
15:00	閉会挨拶
15:10	

見学会

第1日目・11月30日(月)

■見学会 短大見学会 / 被災地見学会

◇「短大見学会」

実施時間：14時～16時（現地集合・現地解散）

見学先短大：仙台青葉学院短期大学

*より詳細な情報は、見学先短大のHPをご参照ください。

◇「被災地見学会」

実施時間：13時～16時15分（予定）

<12時45分集合、13時出発>

発着場所：「仙台ガーデンパレス」前

見学先：○閑上地区

・「閑上の記憶」にて館内見学

○荒浜地区

○蒲生地区

参加費：2,000円

バス会社：仙台中央タクシー株式会社

※「仙台ガーデンパレス」のチェックインは15時からですが、荷物はホテルに預けられます。

<短大見学会>

■仙台青葉学院短期大学

仙台青葉学院短期大学は、平成 21 年、仙台市若林区五橋に開学し、看護学科とキャリアデザイン学科（現ビジネスキャリア学科）の 2 つの学科でスタートしました。平成 25 年度には長町キャンパスが、平成 26 年度には中央キャンパスが加わり、3 つのキャンパスになりました。開学当初の 2 学科に加え、リハビリテーション学科、こども学科、歯科衛生学科、栄養学科の 4 学科が増え、今では合計 6 学科です。

五橋キャンパスは、仙台駅東口から徒歩 10 分、地下鉄五橋駅から徒歩 5 分というアクセスに恵まれた環境となっています。同キャンパスには、ビジネスキャリア学科・看護学科・こども学科の学生が通学しています。近隣には、ショッピング施設から公共施設まで、快適&便利な環境の中にあり、学生一人一人の夢の実現へ向けた、最新の施設・設備環境が整えられています。学内には、生活相談等学生の心の支えとして機能している学生総合支援センターがあり、いつも学生でにぎわっています。



仙台青葉学院短期大学（担当：事務局長 渋谷雅宣 氏）

住所 宮城県仙台市若林区五橋 3 丁目 5-75

電話 022-369-8000

交通 仙台駅東口から徒歩 10 分

集合場所 いっっぱし 五橋キャンパス 1 階 事務室受付窓口

<被災地見学会>

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は東北各地域に大きな被害をもたらしました。今回、その被災地である宮城県仙台市にて研修会を実施するにあたり、実際に被災地域を訪れ、語り部の方々などから当時の貴重な体験を伺いながら、あらためて学生に対する防災・危機管理教育の重要性を再認識し、災害時における学生生活支援のあり方を考える機会とします。

○見学先（予定）

1. 名取市閑上地区および「閑上の記憶」

仙台市の南隣の沿岸部地域で、約5,000名が居住していたこの地域は、震災により約700名が犠牲となりました。その中には、閑上中学校の生徒14名も含まれています。津波により大きな被害を受けた閑上中学校の時計は、当時の14時46分で止まったままになっています。

震災から1年経った平成24年3月11日、閑上中学校遺族会は閑上中学校の敷地内に慰霊碑を建立し、翌月4月22日にはNPO法人『地球のステージ』が日本国際民間協力会と協力して、慰霊碑近くの更地に「閑上の記憶」を建てました。

「閑上の記憶」は、慰霊碑を守る社務所として、閑上の人たちが立ち寄れる場所として、そして震災を伝える場所として、地元の人たちを中心に発展しています。被災された方々が語り部や案内人となり、痛切に知らしめられた「いのちの大切さ」を伝える取組みに力をいれています。さらに「閑上の記憶」では、被災地で深刻化している心の問題について、語ることで心の整理が進められるよう、語る機会や場所の提供を積極的に行っています。

当日は、この「閑上の記憶」にて、語り部講話を予定しています。（詳細はHPをご参照ください）

2. 仙台市若林区

荒浜地区／約800世帯、2700名が居住していた地域で、海岸から約700mの場所に位置する荒浜小学校では、屋上まで避難していた子供たちと住民が「SOS」の文字を書き、翌日、自衛隊のヘリコプターにより救助されました。校舎が倒れずに残ったおかげで、多くの命を守ることができましたが、予想以上の津波の高さに、多数の住民が犠牲となりました。

蒲生地区／古くから仙台市沿岸部住宅地区で仙台新港の南隣に位置し、仙台において最も被害の大きな地区です。地元の中野小学校屋上に避難した地域住民が不安な一夜を過ごし、翌日、自衛隊のヘリコプターに救助された映像をご覧になった方も多いと思います。



研修内容

第2日目・12月 1日(火)

- 開会挨拶 日本私立短期大学協会 学生生活委員会委員長
青山学院女子短期大学 学長 八 耳 俊 文 氏

■講演 I

大学間連携災害ボランティアネットワークの取り組み

ー東日本大震災・被災県に設置している大学としての試みー

東北学院大学学長室 地域共生推進課 其 田 雅 美 氏

東日本大震災発生以降から現在に至るまで、宮城県に設置している大学として、復旧・復興に関わるボランティア活動をどのように取り組んできたのかをご紹介します。また、その中において、自然発生的に立ち上がった「大学間連携災害ボランティアネットワーク」の概要と今後の展望についてご紹介をさせていただきます。研修に参加されている皆様とともに、大学が復旧・復興に関わる学生ボランティアの役割やどのように推進していくべきかを考える機会となればと考えております。

講師紹介

平成 14 年 4 月より、東北学院大学に勤務。現在まで、学生部、総務部を経験し、現在は学長室に所属。東日本大震災が発生する約半年前より、学内でボランティアセンター設立プロジェクトメンバーの一人として、「東北学院大学災害ボランティアステーション」、「大学間連携災害ボランティアネットワーク」の運営に設立から現在まで関わっている専任の大学職員。

■事例報告

I. せいよう祭（短大祭）について

仙台青葉学院短期大学 学生委員会委員長・教授 阿 部 昌 子 氏

1つのキャンパスからスタートした本学ですが、現在は3つのキャンパスになりました。今年は初めて、離れたキャンパスにいる学生達が1つとなって「せいよう祭」を行いますので、その事例をご紹介します。

II. 学生部委員会の取組みー学生と教職員のかかわりー

桜の聖母短期大学 学生支援部学生支援課長 橋谷田 恵 子 氏

多様な学生に対して学生部委員会が取り組んでいる、学生の主体性を伸ばす試みについてご報告いたします。

■調査報告

平成 26 年度実施「学生生活に関する調査」報告

学生生活委員会委員
青山学院女子短期大学 学生課長 本 橋 正 人 氏

■分科会研修

短期大学の学生生活における支援の在り方とは ー学生自身の持つチカラを引き出すー

〈共通テーマ〉

- 1) 大学における危機管理（防災、SNS、ハラスメント 等）
- 2) 学生支援（障がい者支援、学生相談、経済支援 等）
- 3) 学生指導（マナー教育、課外活動 等）

*いずれのグループも上記のテーマについて討議・意見交換を行います。

■情報交換ネットワークの会

第3日目・12月 2日(水)

■分科会研修（前日の続き）

■講演Ⅱ

エンロールメント・マネジメント（EM）とIR ー学生を知り抜くための山形大学型EMIRー

山形大学

エンロールメント・マネジメント部 教授 福島真司氏

EMは、科学的マーケティング手法を用いて大学マネジメント・サイクルを永続させるマネジメント手法です。大学におけるマーケティングとは、学生募集だけをさすのではなく、私たちの学生の価値を創造し、その最大化を実現し続けるための、組織一体となった活動全体をさします。教職の壁、部署の壁を越えて、「私たちはどのような人材を育成するために存在するのか」という価値を共有し、そこに向かう必要があるが、そのためには、学生を知り抜くための大学調査(EMIR)が欠かせません。山形大学 EM 部では、学生に関する入学前から卒業後までの情報を一貫してトラックし、分析するための「総合的學生情報データ分析システム」構築に着手し、学生視点を中心におき、真のマーケティング志向の組織をめざした挑戦を始めています。

講師紹介

1967年生まれ、香川県出身。

広島大学大学院学校教育研究科言語教育学専攻修了、桜美林大学国際学研究科大学アドミニストレーション専攻修了、ビジネス・ブレイクスルー大学大学院経営学研究科経営管理専攻修了。修士（教育学）、修士（大学アドミニストレーション）、MBA。山陽女子短期大学助教授、宮崎国際大学助教授、鳥取大学准教授等を経て、2007年より現職。主な専門は、大学マネジメント、大学マーケティング、大学入学者選抜研究。2011年からEMIR勉強会を主宰。文部科学省大学設置・学校法人審議会専門委員。

■閉会挨拶 日本私立短期大学協会 学生生活委員会副委員長

聖徳大学短期大学部 学生部次長

幸田和也氏

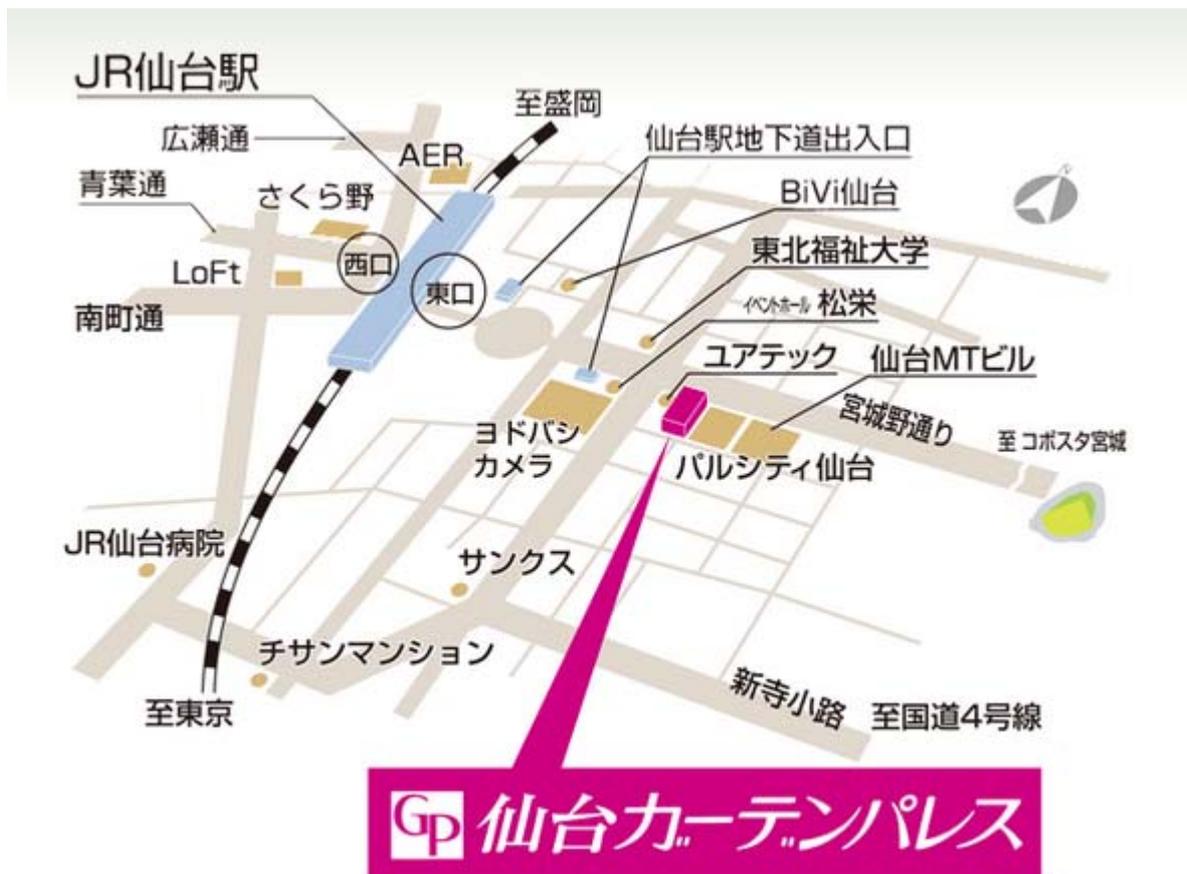
研修会場案内図

「仙台ガーデンパレス」

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡 4-1-5

TEL 022-299-6211

FAX 022-299-6248



○ 仙台駅東口より徒歩3分

研修会参加費納入及び参加申込み方法について

「参加費」の納入は銀行振込みにより、一般財団法人私学研修福祉会宛にお振込みください。
「申込書」は日本私立短期大学協会宛にEメールにてご送信願います。

1. 参加費の納入方法

- (1) 参加費は全日程で「短大見学会」に参加の場合は一人29,500円、「被災地見学会」に参加の場合は一人31,500円です。下記にお振込みください。

銀行名・支店名： 三菱東京UFJ銀行 神田支店
口座の種類・口座番号： 普通 1225036
口座名： 一般財団法人私学研修福祉会 <small>（たんだいくち）</small>

- (2) 前記の銀行口座にお振込みの際、必ず「依頼人」欄には、短期大学名を明記してください。
- (3) 参加者が2名以上の場合は、一括してお振込みください。
- (4) 日本私立短期大学協会からの領収書は発行いたしません。
- (5) 一度納入された参加費は原則として返金いたしません。振込後に欠席される場合には、研修会終了後、当日配布資料の発送をもって代えさせていただきます。

2. 参加申込み方法

- (1) 申込処理等を迅速に行うため、本研修会の参加申込みは電子媒体(MS-Excelファイル)及びEメールを用いてお申込みください。

まず、①本協会ウェブサイトを開き、【学生生活委員会】の本研修会ご案内ページから、申込書ファイル(MS-Excel形式)をダウンロードし、②必要事項をパソコン入力
のうえ、③本協会宛にEメールにて申込書ファイルを添付して、お申込みください。

本協会ウェブサイトURL <http://www.tandai.or.jp/kyokai/>

なお、申込書の入力方法、送信方法に諸注意がございますので、詳細は後述の「参加申込み手順について」を必ずご参照ください。

- (2) 申込書には、参加費納入確認を円滑に行うため振込み元の「金融機関名・支店名」、「参加費振込日」を入力する欄があります。申込書の入力に先立ち、参加費の振込み手続きをお願いいたします。なお、学内の事務手続きの関係で振込みが遅れる場合は、その旨を「3) その他、連絡事項」欄に記し、「参加費振込日」には振込予定日を入力してください。
- (3) 参加申込み締切り期日は、平成27年10月13日(火)です。厳守願います。
なお、申込みが締切り期日より遅れる場合は、必ず事前に事務局までその旨をご連絡ください。

本研修会に関する問合せ先：日本私立短期大学協会 事業課	
担当：江澤、市川	E-mail：gakusei@tandai.or.jp
TEL 03-3261-9055	FAX 03-3263-6950

参加申込み手順について

研修会の参加申込みにつきましては、下記手順に従い、お申込みいただきますよう、よろしく
お願いいたします。

記

参加申込み手順

所定の申込書ファイルをダウンロードし、必要事項を入力のうえEメールに添付してお送りください。
なお、申込み期限は平成27年10月13日(火)です。

1. 申込書データファイルのダウンロード

<http://www.tandai.or.jp/kyokai/>

1. 申込書データファイルのダウンロード

(1) 日本私立短期大学協会のWebサイトの下記URLにアクセスする。

<http://www.tandai.or.jp/kyokai/>

(2) 申込書データのダウンロードページを開く

【学生生活委員会】ページの【平成27年度私立短大学生生活指導担当者研修会開催について(お知らせ)】ページにアクセスすると、研修会の案内及び申込書のダウンロードページが表示されます。

(3) 申込書データをダウンロードする

申込書は、Excel形式のデータファイルとなります。

※Internet Explorerの場合、リンク先を右クリックし、「対象をファイルに保存」を選択し、ご自身のパソコンの任意のフォルダへ保存してください。

2. 申込書データファイルへの入力

2. 申込書データファイルへの入力

(1) シート構成

申込書データファイルは以下の3シートで構成されています。なお、ブック及び各シートは「保護」を設定していますので、項目や書式の変更はできません。

① 「はじめに(必読)」シート

このシートの内容を確認のうえ、データ入力してください。

② 「申込書」シート

このシートに必要な事項をすべて入力してください。

③ 「事務局用(入力不要)」シート

このシートはデータ回収後に事務局が使用するためのものなので、入力不要です。(削除しないでください)

※自作ファイル、もしくは流用作成したファイルでのお申込みは一切お断りいたします。

(2) 複数人お申込みの場合

お二人以上でお申込みの場合は、1名につき1ファイルで申込書データファイルを作成してください。

3. 申込書データファイルの送信
gakusei@tandai.or.jp

3. 申込書データファイルの送信

(1) 申込書データのファイル名を変更する

ファイル名は元のファイル名（gsken27）の後に、短大名を付加してください。なお、複数名申込みの場合のみ短大名の後に数字を付加してください。

例) アルカディア短期大学で2名申込みの場合

→ gsken27アルカディア1.xlsx
gsken27アルカディア2.xlsx

(2) 申込書データファイルを送信する

入力内容を最終確認後、申込書データファイルをEメールに添付して、学内担当者から協会事務局へ送信してください。

送信先 : gakusei@tandai.or.jp

(3) メール の 件名

「〇〇短期大学 学生生活研修会申込み」としてください。

(4) 「開封通知機能」の付加

メール送信の際は「開封通知機能」を付加してください。折り返し送信された開封通知をもって、受信確認のお知らせとさせていただきます。「開封通知機能」が付加できない場合は、メール本文にその旨を記載してください。

(5) バックアップデータの保存

送信事故防止のため、申込者の責任でデータを保管してください。

4. 確認メールの受信（申込み完了）

4. 確認メールの受信（申込み完了）

協会事務局からの開封通知の受信をもってお申込手続きが完了となります。

申込みメールを送信後、数日経過しても確認メール（開封通知）が届かない場合は、申込みメールが届いていない場合がありますので、お手数ですが必ず協会事務局まで電話にてお問い合わせください。

【お問い合わせ】

ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

日本私立短期大学協会〔電話 03-3261-9055 FAX 03-3263-6950〕

問い合わせ用 E-mailアドレス : gakusei@tandai.or.jp

担当：事業課 江澤、市川

以 上